

平成30年度シラバス

対象教科・科目	単位数	学年	使用教科書
外国語科・コミュニケーション英語Ⅱ	4	2 学 年	LANDMARK English Communication Ⅱ (コⅡ314), 予習ノート

1 科目の目標等

科目の目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。 具体的な言語活動は以下の通り。 ア. 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。 イ. 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。 ウ. 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりする。 エ. 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。
評価方法	定期考査…70% 豆テスト…10% 提出物・授業態度・発表点・その他等…20%

2 コミュニケーション英語Ⅱの評価の観点、規準及び評価方法

	①コミュニケーションへの関心・意欲・態度	②外国語表現の能力	③外国語理解の能力	④言語や文化についての知識・理解
観 点	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	英語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。	英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。
規 準	「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の言語活動に積極的に取り組んでいる。	情報や考えなどについて、英語で話し合ったり意見の交換をしたりすることができる。 情報や考えなどについて、英語で簡潔に書くことができる。	英語を聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点を捉えたりすることができる。 英語を読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点を捉えたりすることができる。	英語の仕組み、使われている言葉の意味や働きなどを理解しているとともに、言語の背景にある文化を理解している。
評価方法	a. 授業に対する意欲 / b. 発表 / c. 課題等の提出 / d. 小テスト・定期考査			

3 学習計画及び評価方法等

学期	月	考 査 範 囲	学 習 内 容	学 習 の ね ら い	評 価 の 観 点				評 価 方 法	配 当 時 間	進 度
					①	②	③	④			
1 学 期	4	中 間 考 査	Preparatory Lesson	英文を読むのに役立つディスコースマーカーの知識を身につける。		○	○	○	a d	4	
			Lesson 1 I'm the Strongest!	<題材内容> ・車いすテニスのルールを理解する。 ・慎吾が車いすテニス選手になるまでの経緯を理解する。 ・慎吾がどのようにスランプを克服したか理解する。 ・プロ車いすテニス選手としての慎吾の願いを理解する。 ・一生懸命取り組んでいることについてエッセイを書く。 <文法事項> 完了形の分詞構文、受動態の分詞構文について理解する。	○ ○ ○ ○ ○	○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a b c d	12	
	5		Lesson 2 Tokyo's Seven-minute Miracle	<題材内容> ・テッセイの仕事内容を理解する。 ・テッセイの仕事の特徴を理解する。 ・テッセイの仕事を支える日本の清掃文化について理解する。 ・テッセイの仕事への誇りについて理解する。 ・日本が世界に対して誇れることについて意見交換をする。 <文法事項> 強調のための倒置、形式目的語のitについて理解する。	○ ○ ○ ○ ○	○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a b c d	12	
			Lesson 3 Saint Bernard Dogs	<題材内容> ・セントバーナード犬の救助犬としての歴史を理解する。 ・優秀な救助犬、バリーの功績を理解する。 ・セントバーナード犬が売りに出された経緯を理解する。 ・売りに出されるセントバーナード犬を救うため、スイスの人々がとった行動を理解する。 ・人間と親しい関係を築く動物について情報交換をする。 <文法事項> 強調のための倒置、形式目的語のitについて理解する。	○ ○ ○ ○ ○	○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a b c d	12	
			Tips for Listening 1, 2	英語の音声の特徴について理解し、聞き取ることができる。	○		○	○	a d	4	
	7		Lesson 4 Chanel's Style	<題材内容> ・IT業界とファッション業界、それぞれの革新者について理解する。 ・シャネルがシンプルで快適な服を作った時代背景について理解する。 ・シャネルが考案したファッション品を理解する。 ・革新者であり続けたシャネルの原動力を理解する。 ・好きな革新的人物についてエッセイを書く。 <文法事項> S+V+分詞 / S+V+O+分詞、付帯状況を表すwith+O+Cについて理解する。	○ ○ ○ ○ ○	○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a b c d	12	
《課題・提出物等》CommunicationのSpeaking, Writing, 予習ノート及びワークブックの問題を課題として出す。 《第1学期の評価方法》 1 評価対象： a. 授業に対する意欲 / b. 発表(内容・態度) / c. 課題等の提出(内容・態度) / d. 小テスト・定期考査 2 評価配分： a. 授業に対する意欲 10% / b. 発表 10% / c. 課題等の提出 10% / d. 小テスト・定期考査 70%											

学期	月	考查範囲	学習内容	学習のねらい	評価の観点				評価方法	配当時間	進度
					①	②	③	④			
2 学期	9	中間 考查	Lesson 5 Science of Love	<題材内容> ・なぜ人は恋をするのかについての発表の概要を理解する。 ・子ども時代の経験、遺伝子、体内の化学物質、それぞれを理由とする3つの学説を理解する。 ・本文中の3つの学説で、どの学説に興味があるかとその理由について意見交換をする。 <文法事項> 同格の that 節、疑問詞 + do you think (+ S) + V? について理解する。	○		○	○	a b c d	13	
	10		Lesson 6 Gaudi and His Messenger	<題材内容> ・ガウディーとサグラダ・ファミリアの歴史を理解する。 ・外尾が専任彫刻家になるまでの経緯を理解する。 ・外尾が述べる、ガウディーの信条について理解する。 ・ガウディーと外尾についてエッセイを書く。 <文法事項> 関係副詞の非限定用法、if 節を用いない仮定法について理解する。	○		○	○	a b c d	13	
	11	期末 考查	Tips for Listening 3, 4	英語の音声の特徴について理解し、聞き取ることができる。	○		○	○	a d	4	
			Lesson 7 Letters from a Battlefield	<題材内容> ・硫黄島の戦いや、栗林中将の作戦について理解する。 ・硫黄島から兵士が家族に宛てた手紙について理解する。 ・レッスン本文を読んだエッセイを書く。 <文法事項> 譲歩を表す複合関係詞、動名詞の意味上の主語について理解する。	○	○	○	○	a b c d	13	
	12		Lesson 8 Edo: A Sustainable Society	<題材内容> ・今日のごみ問題について理解する。 ・江戸時代の循環型社会について理解する。 ・江戸時代の自然環境と生活水準の変化を理解する。 ・江戸時代の循環型社会が成功した理由を理解する。 ・「もったいない」と思うものについて意見交換する。 <文法事項> 注意すべき関係代名詞の非限定用法、独立分詞構文について理解する。	○	○	○	○	a b c d	13	
《課題・提出物等》Communication のSpeaking, Writing, 予習ノート及びワークブックの問題を課題として出す。 《第2学期の評価方法》 1 評価対象： a. 授業に対する意欲 / b. 発表(内容・態度) / c. 課題等の提出(内容・態度) / d. 小テスト・定期考査 2 評価配分： a. 授業に対する意欲 10% / b. 発表 10% / c. 課題等の提出 10% / d. 小テスト・定期考査 70%											

学期	月	考查範囲	学習内容	学習のねらい	評価の観点				評価方法	配当時間	進度
					①	②	③	④			
3 学期	1	学年 末 考査	Lesson 9 AI and Our Future	<題材内容> ・AIとは何かを理解する。 ・ディープラーニングの仕組みを理解する。 ・AIがもたらす産業の効率化について理解する。 ・AIの発展にともなう脅威と人類との共存について理解する。 ・AIの賛否について意見交換する。 <文法事項> as if [though] + 仮定法、助動詞 + have + 過去分詞について理解する。	○	○	○	○	a b c d	14	
	2		Lesson 10 Bhutan: A Happy Country	<題材内容> ・震災後の日本を訪れたブータン国王夫妻について理解する。 ・ブータンの地理と歴史を理解する。 ・ブータンの国民総幸福量への捉え方について理解する。 ・ブータン政府のGNH政策を理解する。 ・ブータン人の幸福観を理解する。	○		○	○	a b c d	14	
	3				○		○	○			
《課題・提出物等》Communication のSpeaking, Writing, 予習ノート及びワークブックの問題を課題として出す。 《第3学期の評価方法》 1 評価対象： a. 授業に対する意欲 / b. 発表(内容・態度) / c. 課題等の提出(内容・態度) / d. 小テスト・定期考査 2 評価配分： a. 授業に対する意欲 10% / b. 発表 10% / c. 課題等の提出 10% / d. 小テスト・定期考査 70%									年間授業時数		
										140	

目標を達成できたか A(80%以上) B(65%以上) C(40%以上) D(40%未満)	自己評価	次年度未向けの課題
1学期		
2学期		
学年末		

